

氏名	吉田俊之	部署	地域連携センター	職名	教授
研究分野	福祉経営学、ヘルスケアポリシー、ヘルスケアマネジメント、地域包括ケア				
学位	修士（経営学）、修士（保健学）				
学歴	2001年広島大学医学部保健学科、2003年広島大学大学院医学系研究科博士前期課程、2016年慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士前期課程				
経歴	2023年埼玉県立大学保健医療福祉学部・教授 2024年埼玉県立大学地域連携センター・教授				
所属学会（役職）	医療経済学会、日本生活支援工学会（理事）				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	医療DXを「わたしたちの健康」の視点から考える	単独	日本リハビリテーション医療デジタルトランスフォーメーション学会 第3回学術集会、金沢市	○吉田俊之	2025.7	
2	生活支援工学領域の支援機器人材育成プログラムの構築	単独	LIFE2025(第24回日本生活支援工学会)、厚木市	○吉田俊之	2025.8	
3	障害当事者による支援機器開発参加の意味を問う：当事者研究による自己省察を通じて	共同	LIFE2025(第24回日本生活支援工学会)、厚木市	○麿澤孝、吉田俊之	2025.8	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	ヘルスとケア領域におけるCo-productionに関する研究の動向	単独	研究討論会（7月期、慶應義塾大学大学院経営管理研究科ヘルスケアマネジメント・イノベーション寄付講座）	○吉田俊之	2025.7	
2	Grossman モデルと共同生産理論を手がかりとした生活期のケアにおける健康生産の分析的検討	単独	研究討論会（12月期、慶應義塾大学大学院経営管理研究科ヘルスケアマネジメント・イノベーション寄付講座）	○吉田俊之	2025.12	
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	令和7年度厚生労働科学研究費（障害者政策総合研究事業）	障害者自立支援機器開発・利活用に関わる医療・福祉・工学分野の人材育成モデルの普及促進に資する研究	研究分担者	2024.4.1-2027.3.31		

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	地域理学療法学		1	地域理学療法の基礎となる社会的要因や背景の理解促進に重点を置いた。
2	障害予防学特論		2	地域包括ケアシステムにおける介護保険制度の役割の理解促進に加え、リエイブルメントアプローチの学術的位置付けと実践的意義の理解促進に重点を置いた。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	地域理学療法学演習		1	ペイシェントジャーニーと地域理学療法のあり方の理解促進を目的とし、ケーススタディーを用いてグループワークを行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	0名副指導0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	東京家政大学 非常勤講師	2025.4.1- 2025.9.12	科目責任者として、科目「福祉サービスの組織と経営」を全14コマ担当した。	
2	帝京科学大学 非常勤講師	2025.12.1- 2025.12.31	科目担当者として、科目「生活支援技術Ⅵ（環境・福祉用具）」を2コマ担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	地域包括ケア「見える化」システム操作・活用研修会(入門編)」	関東信越厚生局	関東信越管内の市町村の担当職員を対象とした地域包括ケア「見える化」システム操作・活用	2025.7
2	中日韓スマート健康養老に関する政策対話及び実践経験 共有シンポジウム	中華人民共和 国民政部	演題「Emerging elderly care technologies in Japan」	2025.8
3	リハビリテーション部主催研修	戸田中央メディカ ルグループ	演題「高齢者の望む暮らしを支える専門職の新しい姿ー予防領域編ー」	2025.9
4	科学的介護フォーラム'25 in 大阪	最中屋	演題「科学的介護を実践するために必要なデータとは」	2025.10
5	静岡県地域包括ケア見える化システムの市町向け研修	静岡県	静岡県内の全市町村の担当職員等を対象とした地域包括ケア「見える化」システム操作・活用	2026.1- 2026.2
6	長崎県地域包括ケア見える化システムの市町向け研修	長崎県	長崎県内の全市町村の担当職員等を対象とした地域包括ケア「見える化」システム操作・活用	2026.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	厚生労働省社会保障審議会福祉部会	委員		2025.4-2026.3
2	厚生労働省事業「在宅医療・介護連携推進支援事業にかかる調査」都道府県・市町村連携支援 ワーキンググループ	委員・アドバイザー		2025.6-2026.3
3	厚生労働省事業令和7年度 社会福祉推進事業 社会福祉連携推進法人制度の活用の促進等に関する調査研究事業 検討委員会	委員		2025.6-2026.3
4	厚生労働省令和7年度障害者総合福祉推進事業 課題番号 11 人口減少下における障害福祉サービスの提供体制の在り方に関する調査研究事業 検討委員会	委員		2025.6-2026.3

5	千葉県地域包括ケアシステム構築状況把握・評価事業に係る 評価指標検討会		委員	2026.1-2026.2
6	厚生労働省令和7年度障害福祉分野の介護テクノロジー導入支 援事業 検討委員会		座長	2026.2-2026.3
7	内閣官房デジタル行財政改革会議事務局 デジタル行財政改 革課題発掘対話(第10回)		モデレーター（司会）	2026.3-2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称			年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	地域連携委員会 委員長代理		2025.4-2026.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会		2025.4-2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			